

豊寿園

FRUITFUL TREE

豊かな樹

Spring 2025

Vol. 66

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJYUEN

TOPICS

HOJYUEN×FAMILY

HOJYUEN'S ALBUM



トピックス

T O P I C S



新年度の辞令交付式！適切な運営を継続していきます！

春、豊寿園では新入職員や異動者を迎えました。

2月に北九州市による実地指導を受審し、運営状況を確認いただきました。また、外部委員を交えて各サービスの運営状況について自己評価を行いました。豊寿園ではこれからも適切な事業運営を継続していきます。

- 〈採用〉
松尾星那 ⇒ 豊寿園 庶務係
- 〈昇任〉
森 務 豊寿園事務課長 ⇒ 豊寿園 園長
渡邊雄樹 豊寿園経理係 ⇒ 豊寿園 経理係長
- 〈転入〉
長崎麻衣子 日赤福岡県支部 ⇒ 豊寿園 事務課長
- 〈異動〉
熊本貴志 豊寿園園長 ⇒ 日本赤十字
九州国際看護大学
財前 剛 豊寿園庶務係長 ⇒ 献血ルーム
くろさきクローバー

あとがき

新年度になりました。今年も豊寿園内の桜はいつもと同じくきれいな花々を咲かせてくれました。異動や転入を受け、園内の体制も新たにりましたが、桜と同じく、変わらずに利用者様、ご家族の安心安全を守りつつ、時代にあわせて変化していければと思います。

豊寿園は今年、開園から28年目を迎えます。顔ぶれなど変わっていくものはたくさんありますが、変わらないものの一つが園内行事です。毎回、職員が企画から準備、実施まで協力して、月1回程度で実施しています。毎回、内容を考え、このたび異動された熊本園長などの芸達者たちがその腕を披露したりしています。仕事とはいえ、皆でワイワイ準備することや、利用者様に笑ってもらうためにどうすれば良いか、考えることは、仕事やプライベートに追われる日々の中で、学生時代の文化祭のように感じ、若返った気分になります。豊寿園では、職員一人ひとりが、何かに一生懸命に取り組んでいます。そういった取組もこの豊かな樹でご紹介していきますので、ぜひ、これからもお楽しみに。
豊寿園広報担当 森 英樹



今回表紙は3月末で日赤九州国際看護大学へ異動された熊本前園長に飾っていただきました。熊本園長は令和4年の着任以降、園内でのクラスターの他、園内の行事でもその辣腕を振るわれてきました。今回も異動の準備で多忙の中、私たちのリクエストに応える形で撮影に協力いただきました。

新園長就任のごあいさつ



謹啓

このたび、特別養護老人ホーム豊寿園の園長を拝命いたしました、森でございます。

まず初めに、これまで施設を支えてこられた熊本前園長をはじめ、職員の皆さま、利用者の皆さま、ご家族の皆さまに心より感謝申し上げます。

当園は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり質の高いサービスを提供するとともに地域に愛される施設を目指すことを基本理念にかかげています。

私もこれまでに赤十字の施設で様々な業務に携わってまいりました経験を活かし、この基本理念を大切にしながら、職員の皆さまと協力し、より良いサービスの提供に努めていくとともに、職員の皆さまが働きやすい環境づくりにも力を入れ、園のさらなる発展を目指してまいります。

今後とも、皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

豊寿園園長 **森 務**

この度、3月末をもって園長を退任し、4月から別の施設に転任となりました。

令和4年4月に豊寿園に赴任し、早三年の月日が経過いたしました。この間、新型コロナウイルス感染症対応に翻弄され、ご利用者様、ご家族の皆様には大変ご不便をお掛けいたしましたこととお詫び申し上げます。

豊寿園は、ご利用者様に安全かつ安心にご利用いただき、ご家族の皆様から信頼されるように、更なるサービスの向上を目指し職員一同鋭意努力して参る所存ですので、今後何卒ともよろしくお願い申し上げます。

三年間大変お世話になりました。最後に皆様のご健勝を祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

前豊寿園園長 **熊本 貴志**

あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回は、令和5年12月に豊寿園でお看取りさせていただきました畠中茂登子様の利用開始から最期の時までの経過について、ご家族の了解のもと、園内の記録をもとにご紹介します。



今回ご紹介する畠中茂登子様。その姿はまるでしっかり者の小学生女子のようで、とてもお元気に約20年間にわたり、豊寿園のサービスをご利用いただきました。

— 幼少期に脳性麻痺を患われたことで知的障害、難聴、言語発達遅滞の障害をお持ちでした —

畠中茂登子様は、北九州市門司区にてお生まれになりました。幼少期に脳性麻痺を患われ、それにより知的障害、難聴、言語発達遅滞の障害をお持ちでした。小学校を卒業後は、ご自宅で営まれていたお店を手伝いながら、ご家族と穏やかに過ごされました。ご両親が逝去された後は、弟様のご結婚を機に同居を始められました。平成11年に弟様が亡くなられた後も義妹様と二人で暮らしを続けておられました。

その後、畠中様は59歳で在宅福祉サービスの利用を開始され、平成12年の介護保険制度開始とともに、豊寿園のデイサービスやショートステイをご利用されるようになりました。デイサービスを利用するなかで、畠中様はいつも明るく元気で、「お兄ちゃん、私ね……」とご自身の身の上話をされるのが口癖でした。他の利用者様が高齢の方ばかりであったため、畠中様は積極的に「おじいちゃん、おばあちゃん」のお世話をされたり、手洗いや片づけなどもすずんで行われていました。その姿はまるでしっかり者の小学生女子のようで、デイサービスを利用する日々をとても楽しそうにお過ごしでした。

— 時には周りの方々と小さなケンカをするような元気な日々をお過ごしでした —

平成27年、豊寿園のデイサービス利用から16年目を迎えた頃、義妹様様がご病気を患われ、入院治療が必要になつたことで、他事業所ショートステイを連続で長期利用されるようになりました。そして平成28年1月、畠中様は豊寿園の特別養護老人ホーム(特養)にご入所されました。特養入所後も振る舞いは変わらず、デイサービス時と

同じように他の利用者様のお世話をしようとされたり、時には周りの方々と小さなケンカをするような元気な日々をお過ごしでした。

その年、義妹様が独居生活となり、県外に住む娘さんのお宅へ身を寄せることになったため、成年後見制度を利用され、成年後見人が選任されました。後見人との買い物では、ご自慢の長髪を束ねるためのかわいいヘアゴムなどを嬉しそうに購入されるなど、女性らしい喜びを見せておられました。性格はせつかちで、気になった場所に進んでいこうとされる場面も多く、そのため転倒されることが少なくありませんでしたが、大きな骨折もなく歩行機能は維持されておりました。

— 新型コロナウイルスの感染が発生し、畠中様も罹患されました。 —



畠中様が特養にご入所されてから7年目となる令和5年1月、特養内で新型コロナウイルスの感染が発生し、畠中様も罹患されました。園内で治療を受けられたものの、その後から徐々に食事を拒否される様子が見られるようになり、栄養補助食品の導入などを行いつつ体調管理に努めました。

—この頃からさらに食事の拒否が目立つようになり、—

同年8月、夜間に居室内で転倒され、左足の痛みを訴えられたため救急搬送。診断の結果、左腸骨骨折と判明し、保存的加療の方針で1カ月後に退院されましたが、以降は車いすでの生活へと変更になりました。また、この頃からさらに食事の拒否が目立つようになり、11月末には栄養補助食品さえも口にされなくなりました。ご自分で食べようとされないうえ、職員が口元に運んでも手で払いのけるように嫌がられるようになり、水分も摂られないうえ、脱水を心配し、医療機関を受診した結果、「老衰の状況」と診断されました。

これを受け、12月1日には県外に住む義妹様が来園され、今後の方針についての話し合いが行われました。義妹様は「今まで本当によく頑張ったので、最期は痛い思いなど無理な延命はさせたくありません」とご希望され、タイムリングを見て看取り対応に切り替えることが決まりました。義妹様と久しぶりの面会をされた畠中様はとても嬉しそうに「お嫁さん！」と声を発せられました。しかし、その翌日からさらに食事を拒否されるようになり、徐々に摂取量が減少していきました。

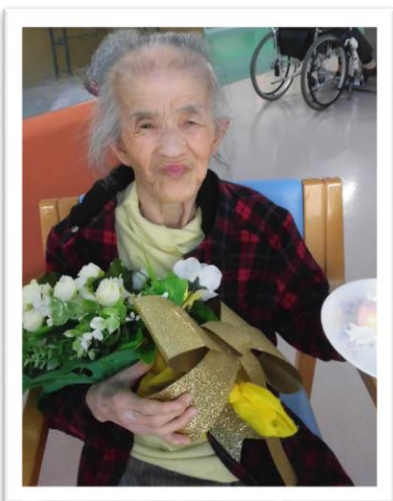
—電話連絡し、義妹様が「覚悟はできています」とその後・・・—

12月6日より看取り対応が開始されましたが、その前日頃には目を閉じられたまま過ごされる時間が増えておりました。後見人も面会に訪れ、声をかけるとわずかに頷かれるなどの反応を見せておられました。

12月9日、前日から水分や食事を一切口にされなくなり、その朝には呼吸状態の変化が見られました。午後には

手足のチアノーゼも確認され、職員が体を摩り、声をかけるとわずかに頷かれる様子もありました。16時過ぎに職員から電話で状況報告を受けた義妹様が「覚悟はできています」とお話しされたから十数分後、畠中様は安らかに息を引き取られました。

畠中様は豊寿園のサービスを20年以上にわたりご利用され、その記録は現在も破られることがありません。畠中様がデイサービスや特養内で「お兄ちゃん、私ね……」「元氣いっぱい」に職員を呼ぶ大きな声を、私たちはこれからも忘れることはないでしょう。



誕生日に贈られた花束を持つ畠中様。キレイなもの、カワイイ物が好きでした。

年賀式



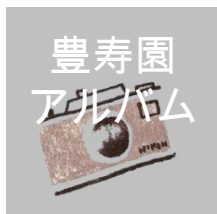
1月 園長から皆さんにお神酒をお配りし一年の健康を
祈念しました。

どら焼き実演



2月 厨房職員が目の前で
手作りしたどら焼きをパクリ

豊寿園 アルバム



節分



2月 職員扮する鬼を皆さんで退治しました。

喫茶



3月 ひな祭りにあわせてお好きなケーキ、
飲み物を選んでお楽しみいただきました。

散策



3月 ショッピングモールに出かけました。

デイサービス

書初め



1月 書初めをしました。

桃の節句



3月 甘酒と雛あられで節句を楽しみました。

ドライブ



3月 旧三井倶楽部に雛人形を見学に行き、門司港レトロ口の散策も楽しみました。



保育所交流



2月 3月に卒園する園児のお祝いをおこないました。



Spring2025

Vol . 66

TOPICS

HOUJYUEN×FAMILY

HOUJYUEN'S ALBUM



FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOUJYUEN